

指定管理者総合評価シート

1 施設の概要

施設名	豊岡市立玄武洞公園	所在地	豊岡市赤石1347番地
設置目的	豊岡市都市公園である玄武洞公園のうち玄武洞、青龍洞、白虎洞、北朱雀洞及び南朱雀洞を保存し、その景観を住民及び来訪者の観覧の用に供し、並びにその資源を活用した地域活性化を図るため。 ※設置管理条例第1条より	設置年月日	
		2021年6月30日 ※設置管理条例制定日	
選考方法	公募	豊岡市公共施設再編計画における施設の方向性 第1期計画期間（2016年度～2025年度）	—

2 指定管理者が行う業務等

指定管理者名	全但バス・神姫バス共同事業体	指定期間	2022年8月1日から2025年3月31日		
指定管理業務の内容	(1) 第3条第1項各号に規定する事業に係る業務 (2) 玄武洞公園の入園及びその制限に関する業務 (3) 玄武洞公園の維持管理に関する業務 (4) 前3号に掲げるもののほか、市長が定める業務	指定管理料（千円）	2022年度	13,415	千円
			2023年度	20,200	千円
			2024年度	20,200	千円

3 総合評価

(1) 指定管理者制度導入効果の検証

	当初の見込みを上回る効果が達成できた。
○	当初見込んでいた効果が概ね達成できた。
	当初見込んでいた効果は達成できなかった。

（上記の判断理由や具体的内容）

豊岡市立玄武洞公園の2023年度の観覧料収入は48,529千円となり、当初の想定(40,000千円)を大幅に上回る結果となった。これは指定管理者による適切な管理及び積極的な運営によるものと評価している。
指定管理者は、積極的な無料ガイド及びヒアリング等を実施することで観覧者にとって有意義なサービス提供に努めている。加えて落石の危険性周知等の必要な連絡等を、観覧者及び本市に的確に行うことで、観覧者の安全確保に繋げている。
その反面、自主事業等を積極的に行えば、より観覧者数増加を図ることが期待できると感じている。

(2) 指定管理者制度運用における課題・問題点

観覧料収入は当初の想定を大幅に上回る結果となった。これは指定管理者による適切な管理及び積極的な運営によるものと評価している。当公園は2022年度にリニューアルを行い現在は集客力が維持されている状況であるが、時間が経過する毎にリニューアルの集客効果が低くなるのが想定される。
そのため、指定管理者の収入実績や市の将来的な人口減少などを踏まえると、指定管理者が自主事業等の創意工夫を積極的に行うことにより、来園者数の増加を図る必要がある。

(3) 指定管理者制度継続の検討

○	指定管理者制度を継続する。
	指定管理者制度による運用の見直しを検討する。若しくは検討中である。

（上記の判断理由や具体的内容）

1年目(2022年度)の指定管理業務は8月からの開始であり、加えてコロナ禍での管理となったため実質平常時に年度を通じて管理運営できたのは2年目(2023年度)のみである。
そのため運用の見直しをすることは判断しづらい状況であり、次期において引き続き指定管理者制度により3年継続し、様子を見たい。

(4) 指定管理者制度評価委員会の意見

指定管理者制度による管理運営を継続する。選定方法は公募とし、指定期間は3年で募集を行うこととする。検討課題として、市と指定管理者が相互に経済的に向上できる方法を議論すること。

1～3(3)を所管課が記入する。